運営会議たより

6月/2026年/NO.63

■　発行:NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定NPO法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
■　TEL/FAX:0467-60-4555　■　E-mail: npo@ccac-kamakura.org　■　https://ccac-kamakura.org/

特集１　：　新体制が発足しました／役員挨拶
　　２　：　かまくらファンド募集開始

ご挨拶



5月24日の総会にて理事としてご信任をいただき、互選により理事長を拝命いたしました**大津理津子**（おおつりつこ）です。身に余る大役に戸惑いもありますが、皆さまと共に歩みながら、責務をしっかり果たしてまいります。

少し個人的な話になりますが・・・。実は私には孫がおります。
孫にとって祖父母をどう呼び分けるかというのは、なかなか面白いものです。「鎌倉のおじいちゃん」「千葉のおばあちゃん」といった地名で呼ぶご家庭も多いでしょう。我が家では、いちご狩りに連れて行ってくれた祖父を「いちごのじぃじ」、プラレールの線路がたくさんある我が家は「線路のじぃじ」。孫なりのわかりやすい分類方法なのでしょう。ちなみに私は「線路のばぁば」というわけです。

そんなことを思い出しながら、ふと考えました。では、当NPOセンターは皆さまにとって“何をする場所”として記憶されているのでしょうか。私たちは「中間支援組織」という役割を担っていますが、この言葉が十分に浸透しているとは言い切れません。多くの方にとっては「コピーができる場所」「会議室を借りる場所」という認識にとどまっているのではないでしょうか。もちろん、それらも大切な機能です。しかし、市から託されている第6期指定管理で求められているのは、「市民活動の相談ができる場所」「協働が生まれる場所」として、さらに地域に頼られる存在になることです。

その第6期指定管理も2年目に入りました。まだ道半ばではありますが、一つひとつの取り組みを積み重ねながら、市民活動に関わる皆さまの力となる“相談のセンター”を目指し、地域の活動をつなぐ“線路”を伸ばしていきたいと考えています。

正会員の皆さまにおかれましても、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

（理事長　大津理津子）

■鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、
市民活動の支援を目的とする中間支援組織です
■運営会議は、NPOセンター鎌倉・大船2館の指定管理者です
■鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします

■ 理事紹介



このたび、鎌倉市市民活動センター運営会議の副理事長に選出されました**池田健吾**（いけだけんご）と申します。大町一丁目に在住しており、鎌倉には 26 年前に東京都文京区から移住してまいりました。

私は約 6 年間の海外駐在（シンガポール）を含め、社会人としては銀行・保険会社・保険代理店と、ほぼ一貫して金融業務に携わってまいりました。

地域活動では、大町八雲自治会副会長・大町八雲みこし会会員・大町八雲こどもみこし会会員・鎌倉ガーディアンズ会員などを務め、「少しでも地域を良くしたい」という想いのもと、積極的に活動してまいりました。

「行政だけに頼るのではなく、自ら行動を起こして少しでも地域を良くしたい」という志をお持ちの皆さまの活動を支える環境づくりに、大津理事長のリーダーシップのもと全力で取り組んでまいります。

会員の皆さまのご指導・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

●——●——●——●——●

このたび副理事長を拝命いたしました、**菅倫明**（かんみちあき）です。

私は行政書士として、相続・契約・法人運営などの実務に携わる一方、ボランティア団体での活動を通じ、地域事業の企画・運営、団体間の連携に関わってまいりました。また、空手道を通じて文化、教育、観光、地域交流を結びつける活動にも取り組んでおります。



市民活動が継続的に発展するためには、思いだけでなく、制度、資金、人材、広報を含めた運営基盤が重要だと考えています。

運営会議の一員として、専門職としての知見と地域活動の経験を活かし、団体の皆さまが活動しやすい環境づくりに貢献するとともに、鎌倉の市民活動がより開かれ、次世代につながるものとなるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●——●——●——●——●



この度、理事の職をお預かりさせていただくこととなりました**郷原啓介**（ごうはらけいすけ）と申します。本業は深沢地区で鎌倉観光いちご園という農園でいちごや鎌倉野菜を 15 年ほど生産し続けています。現在では不動産会社の経営もしており農業やまちづくりで得た経験を活かし空家問題に対する取り組みなども行なっております。

そして公益社団法人鎌倉青年会議所理事長として、地域課題の解決や次世代育成に取り組み、行政・市民・各種団体と連携しながら事業を推進してきました。

これらの経験を通じて、地域資源・人的資源・社会資源・産業資源を循環させる仕組みづくりの重要性を認識しています。運営会議ではこれまでの経験を活かし、市民目線を大切にしながら、多様な団体との連携を強化し、持続可能で活力ある地域社会の実現に貢献していきたいと考えています。

●——●——●——●——●



先の通常総会にて再任いただきました**佐野箇美**（さのかずみ）です。

一昨年の理事就任より「市民活動」に関わる機会をいただき、それまであまり縁のなかったこの世界を経験できたことは、鎌倉転居以降の自分にとって最大イベントの一つとなりました。また、4 月からは NPO センター窓口スタッフとして従事することとなり、日常的に正会員・登録団体との接点をもつことができるようになりました。

今後は、関係各位のお役に立てるよう活動することはもちろんですが、多くの団体・個人が活躍する市民活動について、その存在意義や魅力を以前の自分のように縁がない市民へ伝えることも、運営会議・NPO センターの役割の大きな一つであると考え、実践していきます。「何ができるのか？」を常に考えながら努めてまいりますので、2 年間どうぞよろしくお願いいたします。



このたび、5 月 24 日に開催されました通常総会において、NPO 法人鎌倉市市民活動センター運営会議の理事に選出いただきました**渥美貴司**(あつみたかし)です。
身に余るご信任を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

昨年は、センター長 1 年目としてセンター運営に関わる多くの課題に向き合いながら、地域の皆さま、団体の皆さまとの協働を通じて、市民活動がより活発に展開される環境づくりに取り組んでまいりました。その経験を踏まえ、今年度は理事として、より一層責任ある立場からセンター運営の充実と発展に努めてまいります。

市民活動センターが「多様な市民活動がお互いに学び合い、協働し、地域課題を自ら解決していく拠点」として機能し続けるよう、引き続き現場の声に耳を傾け、透明性と公正性を大切にしながら、運営の改善・強化に取り組む所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

●——●——●——●——●



みなさま、初めましての方が多いと思います。**市岡豊大**(いちおかとよひろ)と言います。

子育て環境を求めて 4 年前に西鎌倉へ移住しました。現役の新聞記者として都内へ通勤しつつ、地元西鎌倉での市民活動という二足のわらじを履いています。

地元では主に 2 つの活動に携わっています。新たな移動手段を検討する西鎌倉地区町内自治会連合会の「モビリティ委員会」では、成果が実り、鎌倉市が公共ライドシェア導入へ動き出しました。移動需要を創出し、既存手段も生かして移動しやすい街を目指します。もう一つは西鎌倉小学校コミュニティスクールの活動として、地域で学校を支えるサポーター活動を立ち上げました。交通、教育、いずれも待ったなしの重要課題ですが、「西鎌倉モデル」を市域全体へ展開できればと思っています。

●——●——●——●——●



この度新たに監事に就任した**坂本哲夫**(さかもとてつお)です。
監事として団体の運営や会計が適正かつ透明性をもって行われているかを公正な立場で確認し、健全な組織運営に貢献したいと考えています。

またボランティア活動が円滑に進み地域社会への貢献が更に広がるよう、これまで NPO 鎌倉ガイド協会にて培ってきた私の経験を活かしながら微力を尽くしてまいります。

会員の皆様と協力して信頼される団体づくりに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

●——●——●——●——●



この度運営会議の監事に選任されました**西畑直樹**(にしはたなおき)です。
正会員の皆さまには 10 年間センタースタッフとしてお世話になりました。
今後 2 年間は監事として、現場での実務経験を活かし、業務監査・会計監査はもとより活動団体を支える中間支援組織のあるべき姿や行政はじめ多様なセクターとの協働のあるべき姿に照らして適切な法人運営がなされるよう確かめる役割を担っていく所存です。

あと 2 年で鎌倉市市民活動センター運営会議は発足 30 周年を迎えます。節目を迎える大事な時期に新たに多彩なメンバーが集まって新理事会がスタートを切りました。新任理事の幅広い顔ぶれにより、新鮮な切り口や新しい発想で理事会が活性化され、法人の組織基盤が一層強化されることを私は期待しております。

正会員の皆さまにはどうか新理事会を盛り立てていただきたく、よろしくお願いいたします。

■ 今年も「かまくらファンド」募集が始まります

「かまくらファンド」は、2001 年に鎌倉で社会貢献活動を行っている市民活動 団体の活動資金を助成するため、鎌倉市市民活動センター運営会議に創設されました。運営会議に市民の方々等より寄せられた寄附金で活動を助成するシステムで、 「市民が市民を支える土壌」を培う環境つくりあげることを目的としています。今年もいよいよ募集が始まります！

【 2026 年度 応募要項】

応募期間：7 月 1 日(水)～8 月 31 日(月)17 時必着
助成金：総額 40 万円
助成団体数：5～8 団体
公開審査会：11 月 3 日(火・祝) 午後
審査会場：たまなわ交流センター 2 階（鎌倉市台 1-2-24）
※なお、応募の詳細については、運営会議ホームページの資料をご覧ください



■ 今年予定されている指定管理事業イベント～積極的にご参加ください！

✧ 登録団体懇話会：7 月 9 日（木）13：30～15：30
✧ スマホ講座「LINE グループを使いこなそう！」：7 月 21 日（火）13：30～15：30
✧ パートナーシップミーティング：「どうなる？鎌倉の公共ライドシェア」9 月予定
✧ かまくら市民活動フェスティバル：12 月 13 日（日）たまなわ交流センター分室

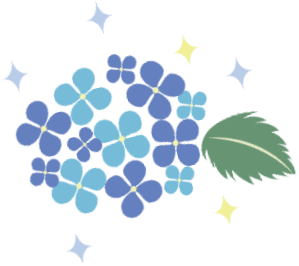
■ 運営会議のホームページが変わりました

新たに URL が変更になりました。秋以降はコンテンツを見直し、リニューアルオープン予定です。お楽しみに！！

新 URL：https://ccac-kamakura.org/index.html

NEW

QR コード：



■ 運営会議 事務局のメールアドレスも変わりました

新メールアドレス：npo@ccac-kamakura.org

会 員 募 集

運営会議は会員によって支えられています
入会随時です。

〈会費〉
正 会 員　　個人正会員　2,000 円
賛助会員
個人 1,000 円、２口以上
団体 1,000 円、３口以上
正会員数　　154 名
賛助会員数　　16 名
賛助団体数　１６８団体（６月末現在）

鎌倉市市民活動センター運営会議は
「認定 NPO 法人」格を取得しています

**“あなたのご寄附が、
鎌倉の街を元気にします”**

ご寄附いただいた場合、**「寄附金控除」**制度が適用され、**確定申告で税金の還付が受けられます**
お問い合わせは運営会議事務局まで！！